

福井市自然史博物館

博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



足羽山の冬景色

雪と静寂の季節、冬…。

足羽山でも、昨年は博物館前で最高 150cmの積雪を記録しました。 静けさの中にもよく観察すると、生き物達の命の営みの一端を 垣間見ることができます。

試練の季節を耐え忍ぶ生き物達の姿を探してみませんか?



今年の干支



架空の生き物である辰(竜・龍)が今年の主人公 です。福井に関わりのある辰にちなむ動物、植物 昆虫、化石、鉱山、星座の話題を

2012年の干支は辰。

取り上げます。

辰にちなむ 動物

タツノオトシゴ

ヨウジウオ目ヨウジウオ科タツノオトシゴ亜科に属 する魚の仲間です。

その姿が竜を連想させることから、『竜の落とし子』 の名前があります。一方、中国や西洋ではその姿を ウマの姿に見立て、海馬、seahorseなどの名が付け られており、富山県でもタツノオトシゴのことをウマ



サンゴタツ (キタノウミウマ)

ノカオなどと呼ぶようです。普通の魚と違って尾鰭が なく、尻尾の部分を海藻などに巻きつけることができ、 スポイトのような口でプランクトンや小魚などを食べま す。オスは腹に育児嚢という子どもを育てるための袋 を持っており、卵と稚魚をここで育てます。この習性から、 雌雄のタツノオトシゴの干物を安産のお守りとして妊婦 に持ち歩かせる風習が日本各地で残っています。(梅村)

辰にちなむ 権

ジャノヒゲ

Ophlopogon japonicus (ユリ科)

別名リュウノヒゲ。山野の林下に 生える常緑多年草で、山歩きをして いると、ポツポツと見つけることが できます。葉は線形で、細長い葉を 竜のひげに見立てたことからこの名



ジャノヒゲ(2007年12月撮影)

があります。花期は7~8月で、白色または淡紫色の小さな花が1 ~2個ずつ総状につきます。晩秋に葉をかき分けると、球形で鮮や かな青色の種子が見つかります。青色の種皮をむくと現れる白い半 透明の種子本体は、床などに打ち付けるとよく弾むので、昔はスー パーボールのように弾ませて遊んだり、竹鉄砲の弾にして遊ぶため に子供たちが探し回ったそうです。

リュウノヒゲモ

Potamogeton pectInatus (ヒルムシロ科)

淡水または河口近くなどの淡水と 海水が混ざり合う所に生える沈水植 物です。水中の茎は上部でよく枝分 かれし、沈水葉は針状。この細い葉 を竜のひげに見立てたことからこの 名があります。花期は7~9月。福 井県では、昭和8年の福井県生物目



リュウノヒゲモ (2004年7月 渡辺氏撮影)

録(植物の部)に若狭地方での採集記録があるものの以後確認されて おらず、福井県レッドデータブック植物編(2004)で県絶滅種に指 定されています。ところが、2004年7月に渡辺定路氏(当館前館長) により坂井市三国町で実に71年ぶりに採集されたのです。しかし、 このリュウノヒゲモが生育していた池は翌2005年の埋め立てによ り消滅してしまい、再び幻の植物となってしまいました。(中村)

辰にちなむ

ゲンゴロウ

ゲンゴロウは中国から渡来した漢 字名では『龍虱』と書きます。福井 県からは30種以上のゲンゴロウが 記録されていますが、中でも福井県 に関わりが深いのがヤシャゲンゴロ



ヤシャゲンゴロウ

ウです。ヤシャゲンゴロウは、福井・岐阜県境の標高1100mの尾 根上にある、夜叉ヶ池からのみ分布が確認されています。近縁な 種類としては、北海道と本州の中部地方以北の高地に分布するメ ススジゲンゴロウがおり、ヤシャゲンゴロウは1963年にメススジ ゲンゴロウの亜種として今庄から記録され、1985年に別種として 独立しました。現在では環境省・福井県のレッドデータブックで ともに絶滅危惧 I 類に指定されており、また、『種の保存法』によっ て国内希少野生動植物種に指定され保護されています。

トンボ

英語ではトンボ(トンボやヤンマの仲 間)をdragon fly(ドラゴンフライ)とい いますが、ドラゴン(龍)は西洋では 不吉な動物であり、トンボは『悪魔の 使い』などとして嫌われ、恐れられて きたようです。一方、日本では、古 来トンボのことを『秋津』と呼び、日 本自体を秋津島と呼んでいました。



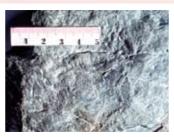
日本で行われている水田稲作がトンボに多くの生息環境を提供し、 日本人にとって身近な昆虫だったのでしょう。このため、日本では トンボは美術・工芸、生活用品、玩具、俳句、詩歌、童話、童謡な どに登場します。また、戦国時代にはトンボは縁 起のよい勝虫と見なされていました。(梅村)

辰にちなむ 化

アスワテドリリュウ

Tedorosaurus asuwaensis

福井市(旧美山町)品ヶ瀬町の上新橋付近で、 1966年に中学校の先生が生徒とともに化石採 集をしていて発見しました。約1億5千万年前 (中生代ジュラ紀) に生きていた心虫類で、大きさ



アスワテドリリュウ (個人蔵)

は10cmほどです。名前は、地名の「定羽」と地 層の名前である「手取層群」にちなんで付けられ ています。学名の「-saurus」は「トカゲ」を意味し、 化石ではこの訳語に、竜がよく使われています (例えばDinosaursは恐竜、Plesiosaurus は首長竜)。 (安曽)

辰にちなむ 鉱山

中竜鉱山

中竜鉱山は、大野市中心部から九頭竜川に沿って、幸で40分ほど遡った旧和泉村上大納地区にありました。かっての中竜鉱山では、大きなできる。



中竜鉱川産の閃亜鉛鉱

するだけではなく、亜鉛精鉱(粉末)を生成する工場も併設され、日本有数の亜鉛鉱山として栄えました。実は、中竜鉱山は鎌倉時代に発見されたと言われていますが、近代的な亜鉛採掘事業は1934(昭和9)年に設立された日本亜鉛鉱業株式会社により始まります。その時の出資者・中村房次郎の「中」と鉱業権者・竜田哲太郎の「竜」に因んで「中竜鉱山」と命名されたようです。

ところで、中竜鉱山は、古生代石炭紀(約3億6000万~3億年前)の石灰石を含む地層が、中生代末~新生代初頭(6900~5400万年前)に貫入した石炭斑岩により熱変成を受けてできた鉱床です。 1000分に東西6km、南北1kmの範囲に複数の鉱脈があり、亜鉛のほかに銀や鉛を産出しました。1980年代前半に



稼働期の精鉱工場の様子 (中竜鉱川パンフレットより)

は新しい鉱床も開発 されましたが、急激 な円高などの影響 で採算があわず、 1987年 に 閉 山 となりました。 (梅田)

辰にちなむ 星座

りゅう座

北の空で北半七覧 とこぐま座の間に星 がうねうねと続いて います。これが火を はくドラゴン(龍)を かたどった、りゅう 座です。北極星のす



1月頃北の空におどるりゅう座

ぐ近くにあるため、1年中見ることができます。1月頃は、北極星の真下にあり、地平線付近に長く横たわっています。この龍は、ギリシャ神話では世界の西のはて、アトラス山の近くへスペリデスの園にある、黄金のリンゴの木を守る見張り番の怪物です。

りゅう座のα星は、しっぽに近いところで光る3.6等星で、名前をトゥバン(アラビア語の龍)といいます。この星は、今から約5000年前、天の北極にあったといわれています。エジプトのナイル川下流、ギザにあるクフ王のピラミッドの中心には北側に31°の傾斜を持つ長さ100m以上のトンネルが



クフ王のピラミッド

通じています。これは当時の天の北極にある星を見るためのトンネルと考えられており、地球の自転軸の首ふり運動の計算から、紀元前2580年頃にはトンネルを通じてトゥバンが見えたと考えられています。(吉澤)

[図の出典] 藤井旭、1992. 星座図鑑 河出書房新社 林宗次、1987. 検索入門 星座(夏) 保育社

水晶を多面的に解説した水晶の入門書

特別展解説書 「きらきらクリスタルー水晶とそのなかまたちー」

「水晶」という言葉には、"透明、硬い、結晶…"というイメージがありますが、「水晶って何だろう?」と改めてたずねられると戸惑うかもしれません。水晶は「石英」という鉱物の結晶です。では、「水晶はなぜ透明なのでしょう?」「なぜ六角柱状なのでしょう?」「どれくらい硬いのでしょう?」第 I 章では水晶という鉱物のこのような興味深い性質を写真やイラストで紹介しました。

次の第Ⅱ章では、水晶のなかまである、玉髄やめのうを取り上げました。水晶とめのうとは見た目はずいぶんちがいますが、どちらも石英でシリカ(二酸化ケイ素)という物質でできています。水晶は、単一の石英結晶として成長し、めのうは非常に小さい石英が多数集まったものです。オパールは球状のシリカが集まったもので、水を含むのが特徴です。

第Ⅲ章は、同じようにシリカ溶液から生成した水晶・めのう・ オパールが、どのようなしくみで姿の異なった鉱物となったの かを解説しました。

第VI章では、人工水晶の合成方法と水晶デバイス(水晶を加工して作った電子部品)に関して触れました。実は、人工水晶は、現在の私たちの生活には欠かせない数々の電子機器の中で重要な役

割を果たしているのです。

そのほか福井県小浜市護敷で江戸時代から受け継がれる伝統工芸―若狭めのう細工や、福井県出身で大正〜昭和の初めに独学で水晶研究を続けた市川新松氏の蝕像研究にもスポットを当てました。このように本書は水晶を多面的に解説し、水晶が美しさだけではなく実用をも兼ね備えた鉱物であることを実感できる冊子に仕上げました。(梅田)

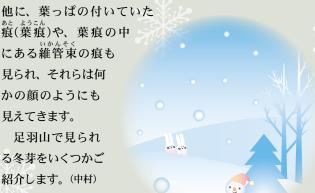


てみよう

寒さの厳しい冬本番。植物は、冬芽という小さく固い 芽を付けて、寒く乾燥した冬を乗り切ります。冬芽の中に は、春になると開く大切な葉と花がしまわれています。冬 山を歩いて木々の冬芽をよく観察すると、小さなうろこの ような鱗片葉※1に何重にも包まれていたり、ふわふわの毛 に覆われていたり、葉自身が小さく固く縮こまることで身 を守っているもの(裸芽)などが見られます。また冬芽の

痕(葉痕)や、葉痕の中 にある維管束の痕も 見られ、それらは何 かの顔のようにも 見えてきます。

足羽山で見られ る冬芽をいくつかご 紹介します。(中村)



な 雑人形のお内裏様 カラスザンショウ(ミカン科)

冬芽は半球形で、3枚の芽鱗*1に 包まれている。葉痕は大きく、ハー ト形から腎臓形。維管束痕は3つ。



カエルのお面 クサギ(クマツヅラ科)

冬芽は裸芽で紫褐色。葉痕は上 部が少し切れ込んだ長円形で、つ き出している。維管束痕はU字形に



_{ぽうし} 帽子がなくてもへっちゃら リョウブ(リョウブ科)

冬芽は、うすい芽鱗がかさのよ うに開いて落ちやすく、すぐに裸芽 となる。葉痕はハート形から三角形 で枝先に集まり、維管束痕は1つ。



まうかん 王冠をかぶった王子様 アジサイ(ユキノシタ科)

頂芽*2は幼い葉2枚が向き合って いる裸芽で、側芽*2にはつすい芽鱗 があるが落ちやすい。葉痕はハート 形から三角形で、維管束痕は3つ。



毛むくじゃらのおじいさん エゴノキ(エゴノキ科)

冬芽はだ円形の裸芽で、2~3個 がたてに並ぶ。冬芽と葉痕は星状毛 におおわれている。葉痕は小さく円 形で、維管束痕は1つ。



※1光合成を行わず、普通の葉より苦しく小型となった葉を蝶片葉といい、鱗片葉が芽を被う場合に芽鱗という名で呼ばれます。※2冬芽には、枝の先端に作ら れた芽(頂芽)と枝の側方につく芽(側芽)があり、頂芽はふつう側芽より大きく樹種の特徴がよく現れ、側芽は大きさにばらつきがあります。

《あとがき》・

太平洋側で生まれ育ったものにとって北陸福井の冬 は厳しいものです。しかし、冬が厳しい分、それに耐え る動植物の姿によりいっそうの力強さを感じます。今回 の博物館だよりでは植物の冬芽を取り上げました。寒 さに耐える冬芽は力強くも、どこかユーモラスです。こ の冬は昆虫や動物だけでなく、植物の冬越しにも目を 向けてみようと思います。

さて、今年で当館は創立60周年、還暦を迎えます。 干支が生まれた年に戻ることから、赤ちゃんに還ると考 えられていた還暦は、人生の原点を見直し、再出発を するためのよいきっかけだと思います。当館も開館当時 の理念・目的を再度見直し、より市民の方に愛される博 物館となるようがんばっていきたいと思います。(梅村)

《交诵案内》

【電 車】

■福井鉄道福武線 公園口駅 徒歩20分

■京福バス:清水グリーンライン (74系統) 足羽山公園下バス停(あ じさいの道登る)、不動山口バス停(藤島神社登る) 各徒歩10分 ●コミュニティバスすまいる:西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 徒歩 10分

【徒 歩】JR福井駅から徒歩30分

《ご利用室内》

開館時間●午前9時~午後5時15分(入館は午後4時45分まで) 休 館 日 月曜日(祝休日は開館)、国民の祝休日の翌日、 年末年始

入館料 高校生以上100円(20名以上の団体は半額) 中学生以下、70歳以上、 障害者および付添の方は無料



